

論文【雑誌・報告書等】《1977～1999年》

1999年

- [1]. 足達淑子：行動療法を健康支援の新しい戦略に. 健康支援. 1999；1：3-9.
- [2]. 足達淑子：21世紀に向けての地域保健「行動療法に期待する—対人サービスの新しい手立て—」. 公衆衛生. 1999；63：378-379.
- [3]. 足達淑子：ライフスタイル改善によるこころの健康増進. こころの科学 特別企画 行動療法. 1999；82-88.
- [4]. 足達淑子, 国柄后子：体重コントロール支援のための方法論の確立と指導者教育法の開発. 厚生科学研究費補助金 健康科学総合研究事業行動科学に基づいた生活習慣改善支援のための方法論の確立と指導者教育養成に関する研究（主任研究者 中村正和）. 平成11年度総括・分担研究報告書. 足達-1～足達-27.
- [5]. 大隈千鶴子, 足達淑子, 曳野晃子ほか：1歳6か月児の母親の養育行動と育児ストレス—行動療法による親訓練を用いた育児支援—. 平成9年度第4回地域保健福祉研究助成報告書. 大同生命厚生事業団. 1999；365-370.

1998年

- [1]. 中村良子, 足達淑子, 土肥佳子ほか：末期医療、インフォームドコンセント、在宅ケアなどに関する医学・看護学教育の現状—全国の医学部、看護婦・保健婦養成施設へのアンケート調査から. 公衆衛生. 1998；62(6)：455-458.
- [2]. 足達淑子, 山口幸生, 国柄后子：体重コントロール支援のための方法論の確率と指導者教育法の開発. 厚生科学研究費補助金 健康科学総合研究事業 行動科学に基づいた生活習慣改善支援のための方法論の確立と指導者教育養成に関する研究（主任研究者 中村正和）. 平成10年度研究報告書. 足達 1-12.
- [3]. 武田和子, 足達淑子, 古賀由起子ほか：乳幼児健診を活用した母親の育児支援と生活習慣改善—行動理論をふまえた新しい母子保健活動—. 平成9年度 先駆的保健活動交流推進事業 研究支援小委員会報告書. 日本看護協会. 1998；371-388.
- [4]. 足達淑子, 曳野晃子, 武田和子ほか：産後の体重コントロールと習慣改善による成人病予防. 大和証券ヘルス財団の助成による研究業績集 第21集. 大和証券ヘルス財団. 1998；179-184.
- [5]. 太田壽城, 足達淑子：運動・肥満教材の概要. 厚生省長期慢性特定失陥総合研究事業 生活習慣病予防のための教育教材開発班（班長 岡山明）平成9年度研究報告書. 1998；45-67.

1997 年

- [1]. 足達淑子, 中村良子, 土肥佳子, 横田清ほか: 保健従事者, 一般住民, 医学・看護学生の末期医療に対する具体的要望. 公衆衛生. 1997; 62(6): 445-458.

1996 年

- [1]. 足達淑子, 山上敏子: 疾病コントロールと患者コンプライアンス—行動医学からの検討—. 医療. 1996; 50(5): 339-346.
- [2]. 足達淑子, 中村良子, 横田清: これからの伝染病防疫に望まれる体制—保健所医師らに対する防疫経験のアンケート調査より. 公衆衛生. 1996; 60(12): 891-894.
- [3]. 足達淑子: 体重コントロール指導プログラム用教材の使い勝手の検討. 平成7年度老人保健健康増進事業. 健康診断後の早期疾病予防・健康増進に使用する生活習慣改善教材開発・制作事業報告書. 1996; 110-120.

1995 年

- [1]. 足達淑子: 体重コントロール指導プログラム. 平成6年度老人保健健康増進事業. 生活習慣改善に効果的な指導のための行動変容教育用教材開発制作事業報告書. 1995; 64-120.
- [2]. 足達淑子: 行動療法を用いた糖尿病教室. 平成6年度地域保健対策総合研究事業. 新しい地域保健体系におけるより効果的な栄養改善指導体制の確立および指導方法・評価に関する研究(主任研究者 野崎貞彦) 報告書. 1995; 9-19.
- [3]. 足達淑子, 山上敏子: 疾病コントロールと患者コンプライアンス. 医療. 1995; 50(5): 339-346.

1994 年

- [1]. 足達淑子, 土肥佳子, 中村良子ほか: 成人病予防における行動医学の応用と有用性—生活習慣変容と患者行動の改善—. 第15回医学研究学術賞報告集. 大同生命厚生事業団. 1994; 19-20.
- [2]. 足達淑子: 肥満の改善用教材. 平成5年度厚生省老人保健推進費等補助金事業. 職域・地域における健康づくりの基盤整備のための調査研究事業. 行動変容を目的とした健康教育教材のレビュー(代表 大島明) 報告書. 1994; 460-478.

1993 年

- [1]. 足達淑子, 三好恵美子, 岩永正彦, 大隈千鶴子ほか : 高コレステロール血症に対する行動的健康教育と効果の維持. 臨床栄養. 1993 ; 82(3) : 277-282.

1992 年

- [1]. 足達良子, 仲宗根信枝, 目野俊子, 大隈千鶴子 : 健康診査の機会を活用した高コレステロール血症の NCEP(National Cholesterol Education Program)に基づく健康教育. 公衆衛生. 1992 ; 56(2) : 132-137.
- [2]. 足達淑子, 藤井久仁子, 山上敏子 : 日本人における Three-Factor Eating Questionnaire による自発的な食事制限の特徴と減量との関係. 行動療法研究. 1992 ; 18(2) : 54-66.
- [3]. 伊藤洋子, 木村博司, 上村繁雄, 足達淑子 : 久留米市における最近 5 年間の自殺例の統計的観察. Act.Crim.Japon. 1992 ; 58(2) : 65-74.
- [4]. 足達淑子, 三好恵美子, 大隈千鶴子ほか : 高コレステロール血症に対する行動的健康教育. 第 17 回医学研究助成 報告集. 大同生命厚生事業団. 1992 ; 141-142.
- [5]. 足達淑子 : 新しい健康教育としての行動療法—対人保健活動への導入—. 日本公衆衛生雑誌. 1992 ; 39 (5) : 252-258.
- [6]. 足達淑子 : 栄養指導における行動療法のアプローチ. ペリネイタルケア, 1992 ; 11 : 236-242.

1991 年

- [1]. 足達淑子, 仲宗根信枝, 目野俊子 : 高コレステロール血症に対する行動療法—保健所の集団健康教育として—. 行動療法研究. 1991 ; 17(1) : 1-11.
- [2]. 足達淑子 : 栄養指導に役立つ行動療法のテクニック. 臨床栄養. 1991 ; 78(6) : 617-629.

1989 年

- [1]. 足達淑子, 松本久美子, 入沢由三子ほか : 保健所における成人健診後の受療指示に対するコンプライアンスと紹介状の効果. 日本公衆衛生雑誌. 1989 ; 36(7) : 413-420.
- [2]. 足達淑子 : 肥満に対する行動療法の効果とその予測因子. 行動療法研究. 1989 ; 15(1) : 36-55.

1988 年

[1]. 足達淑子, 山上敏子: 行動療法による長期減量効果と予測因子. 臨床栄養. 1988; 73(5): 591-598.

1985 年

[1]. 山上敏子, 疋田好太郎, 足達淑子, 日野彰子ほか: 通常「不安」と呼ばれている種々の状態と治療. 行動療法研究. 1985; 10(2): 87-92.

[2]. 足達淑子, 柴崎忍, 山上敏子: 行動療法を用いた減量指導. 行動療法研究. 1985; 11(1): 4-13.

1983 年

[1]. 足達淑子, 牧本道子, 後藤和代, 古川初美, 足立ヒサヨ, 武谷昭二: 福岡市南区における菌陽性結核患者の7年間の登録状況について. 日本公衆衛生雑誌. 1983; 30(4): 177-184.

1982 年

[1]. 足達淑子: 東京都におけるアルコール中毒患者の入院に関する統計的観察. 社会精神医学. 1982; 5(1): 57-65.

[2]. 足達淑子: 福岡市保健所における精神衛生相談の統計的観察. 精神医学. 1982; 24(9): 1009-1017.

[3]. 足達淑子: 1歳6か月児健康診査の有効性—とくに質問票の活用について—. 日本公衆衛生雑誌. 1982; 29(9): 411-418.

1977 年

[1]. 高浜淑子: 松沢病院における入院病棟の現況. 病院. 1977; 36(12); 35-39.